



サルココッカについて

葉は長卵形で先は尖り、暗緑色で光沢があります。日陰地でもよく育ち、株元から芽が出るため、地面を密に覆います。特に刈り込んでグランドカバーにするのに最適です。

2～3月に目立たない白い小さな花を葉腋につけます。雌雄異花で、花弁がなく、萼片が花弁のように見えます。

花はあまり目立たませんが、その容姿からは想像ができないほどの強い芳香があります。早春には、沈丁花などよい香りの花を咲かせる低木が多いですが、サルココッカは、決して香りではひけをとりません。

小さな果実は熟すと黒から赤に変化します。

性質は強健で、高さはせいぜい2mくらいまでしか大きくなりません。鉢植えだけでなく、庭園での根締めや日陰地の生垣などにも使えます。

大気汚染に強く、水はけのよい場所を好みます。

植栽適地：関東地方以南

用途：庭植え、グランドカバー

日照：日向または半日陰むき

花期：2～3月

栽培方法：

植え付けの際に腐葉土、堆肥などを施して植えつけてください。風のある場所では支柱を立てて固定します。冬と春に緩効性肥料を根元に施してください。

繁殖：挿し木または株分け